

第三回 群馬大学生体調節研究所 内分泌・代謝学共同研究拠点シンポジウム

共催:「生活習慣病の病態解明と分子標的の探索プロジェクト」

平成26年1月9日(木)
生体調節研究所 1階 会議室

15:00～15:05 開会の挨拶
岡島史和 (生体調節研究所 所長)

セッション I (座長 北村忠弘)

15:05～15:30 稲田 明理 (九州大学)
「β細胞の新生能力と分化増殖」

15:30～15:55 國井 政孝 (大阪大学)
「膵外分泌・内分泌における膜融合関連分子SNAP23の機能解析と新規阻害剤の検討」

15:55～16:20 草苺 伸也 (群馬大学)
「チロシンホスファターゼShp2による脳機能・行動の制御」

16:20～16:35 休憩

セッション II (座長 山下 孝之)

16:35～17:00 櫻井 靖高 (学習院大学)
「皮膚細胞および組織におけるDNAポリメラーゼイータとイオタの役割」

17:00～17:25 室井 敦 (愛媛大学)
「コムギ無細胞タンパク質合成系を用いたHCVプロテアーゼにより切断される宿主因子の網羅的探索」

17:25～17:30 閉会の挨拶
泉 哲郎 (生体調節研究所 副所長)